

令和4年度第2回庄原市外国語教育研修会

令和4年10月17日（月） 庄原市立高野中学校

<研修会の目的>

- ・ 中学校外国語科の授業研究を通して、本市中学生の実態及び中学校の取組を知るとともに、児童生徒のコミュニケーション能力の育成に向けた指導方法の在り方について研究を深める。
- ・ 言語活動の充実を図るための ICT を効果的に活用した英語授業について理解を深め、本市外国語教育の充実に資する。

【研究授業】第2学年 PROGRAM 5「Work Experience」

授業者 庄原市立高野中学校 教諭 岡村 絵美, ALT Jesse Noe

本時の目標

自分が書いた夢について友達からアドバイスをもらい、分かりやすい英文で書くことができる。

<指導のポイント>

☆生徒が意欲的に取り組むことのできる単元のゴールの設定

⇒ALT から「職場体験で体験したことや学んだことを通して考えたあなたの夢を知りたい」と伝えてもらい、自分の夢を英語で伝えるという意欲を高める。

☆ICT の活用

⇒Google ドキュメントを活用し、一斉にクラスメイト同士で意見交流させる。
(英作文を推敲する際、読み手にとって分かりやすい語句や表現を使用しているか、より良く伝えるための表現とはどのようなものかについて意見交流させる。)



【研究協議】① 生徒の主体的な学びに向けた授業の工夫について

② 言語活動を充実させるための ICT の活用について

- 単元のゴールを明確にし、そこへ向けて授業を構成していくことで子供たちがより主体的に学習できると感じた。
- 伝える相手を確認させることで相手意識をもたせていたのが参考になった。
- デジタル教科書の使い方やドキュメントを使って互いにコメントを書いてアドバイスをするなど ICT をどのように活用したらいいのか具体的に分かった。所属校でも使えるところから使っていきたい。
- ICT を使うことが目的とならないよう、使う意図を明確に設定したい。



【講話・演習】「英語科における言語活動の充実のための ICT の活用について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 藤井 遥

○英語科において、言語活動を充実させるための ICT の活用について講話を行った。その後、参加者は Google スライドを用いた演習を行い、英語の授業での ICT の活用場面を体験した。

☑英語科において ICT を活用し言語活動の充実を図る

⇒ICT を活用することで「言語活動の時間の割合の増加」、「言語活動の質の向上」に繋げることができる。



【参加者の振り返りより】

- ・ ゴールイメージを明確にしなが単元や授業を構想していく必要があり、その中で ICT をどのように活用するかを考えていかなければならないと感じた。
- ・ ICT を効果的に活用し、生徒がコミュニケーションを楽しんでいける工夫を今後もしてこうと思った。
- ・ ICT を活用して言語活動時間の割合を増加させたり、言語活動の質の向上を図ったりするように、できることから取り入れていきたいと思った。また、他教科でも ICT を活用して使い方などに慣れていくと、より円滑に効率良く使用することができると思った。